

# 壁掛手洗器 取扱施工説明書

このたびは、壁掛手洗器をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

施工前・使用前に必ずお読みください。  
お読みになった後は、いつでも見られる所に必ず保管してください。

## 安全上のご注意

施工・使用される前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



気をつけていただきたい「注意」を表します。



必ず実行していただく「強制」を表します。



してはいけない「禁止」を表します。

## 施工上のご注意

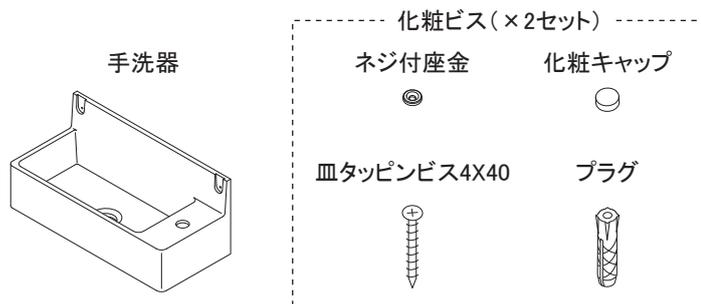
 注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>●施工前に輸送中の破損がないか確認してください。</li> <li>●施工される際、手洗器に大きな荷重(人がのる、ものをのせるなど)を加えたり、強い衝撃(ものを落とす、たたくなど)を与えたりしないでください。破損および故障の恐れがあります。</li> <li>●取付位置には壁裏の補強を行ってください。取付けが不安定になり、取付物の落下・転倒によりケガや死亡の恐れがあります。</li> <li>●ALC壁には取付けしないでください。取付強度が保てず、落下する恐れがあります。</li> <li>●建築工事(別途工事)にて、寸法図を参考に、壁掛手洗器を固定するネジ位置に補強棧(幅90ミリ×厚さ30ミリ)をあらかじめ入れておいてください。</li> <li>●本品と合わせて使用する水栓金具は、必ず止水栓(流量調整のできる器具)を取付けた配管に設置してください。</li> <li>●施工後の確認を必ず行ってください。</li> </ul>
 必ず実行	<ul style="list-style-type: none"> <li>●手洗器と壁のすきま、排水金具の指定位置には必ずシリコンコーキングなどのシール材(防カビタイプ)を塗布してください。漏水により家財に損害を与える恐れがあります。</li> <li>●排水金具の締付ナットは、手洗器の破損を防止するため、ゴムパッキンの弾性を失わない程度に締付けてください。</li> </ul>
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> <li>●手洗器に日光や照明が直接当たる場所には設置しないでください。</li> <li>●ストーブやヒーターなど熱を発生するものの近くに設置したり、ドライヤーなどの熱風や、火のついたタバコが製品に当たらないようにしてください。</li> <li>●ヘアカラー、ヘアマニキュア、養毛剤などの薬液がかかった場合はすぐに洗い流してください。放置すると変色する恐れがあります。</li> </ul>

## 使用上のご注意

 禁止	<ul style="list-style-type: none"> <li>●手洗器に60℃以上の熱湯や油、シンナーなどの溶剤を流さないでください。破損および故障の恐れがあります。また、漏水により家財に損害を与える恐れがあります。</li> <li>●手洗器に大きな荷重(人がのる、ものをのせるなど)を加えたり、強い衝撃(ものを落とす、たたくなど)を与えたりしないでください。破損および故障の恐れがあります。</li> <li>●手洗器にひびが入ったり、割れた場合、破損部には素手で触らないでください。破損部でケガをする恐れがあります。</li> <li>●手洗器にひびが入った状態で使用しないでください。突然割れてケガをする恐れがあります。</li> </ul>
 注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>●汚れや水滴を長く放置すると表面に汚れが固着することがあります。本品は樹脂製ですので、ふだんは乾いたやわらかい布(タオルなど)を使って、こまめに水気を拭き取ってください。汚れがひどい時は、研磨剤を含まない中性洗剤を使用し、うすめた洗剤を含ませた布で軽く拭いた後、水拭きし、最後に乾いた布で水気を拭き取ってください。原液は使用しないでください。</li> <li>●金属たわしやクレンザー・磨き粉など粒子の粗い洗剤・酸性や塩素系の洗剤・ベンジン・油などは、表面を傷めますので使用しないでください。</li> <li>●金属類(ヘアピン、カミソリの刃など)を放置しないでください。サビが付着して取れなくなる場合があります。</li> <li>●スチームクリーナーは、製品が破損する原因となりますので、使用しないでください。</li> </ul>

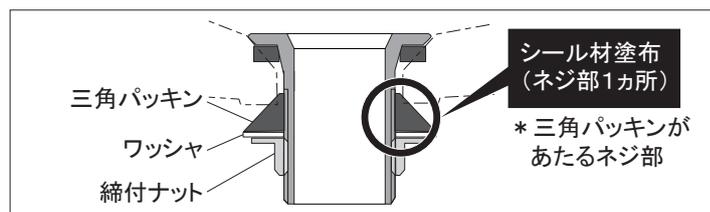
## 製品同梱明細

■施工される前に各部材をご確認のうえ、ご使用ください。



## 取付方法

### 1. 排水金具(別売)を取付けます。



注意

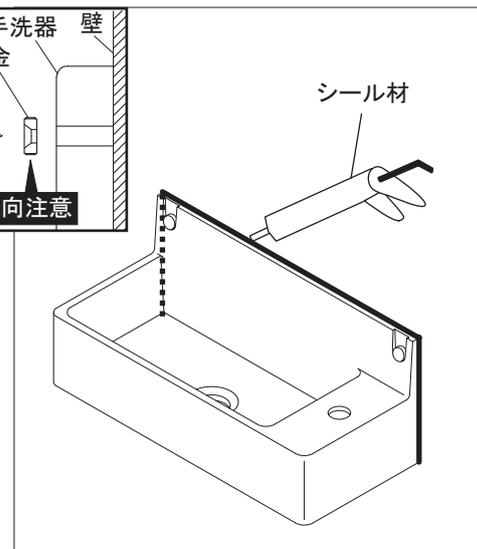
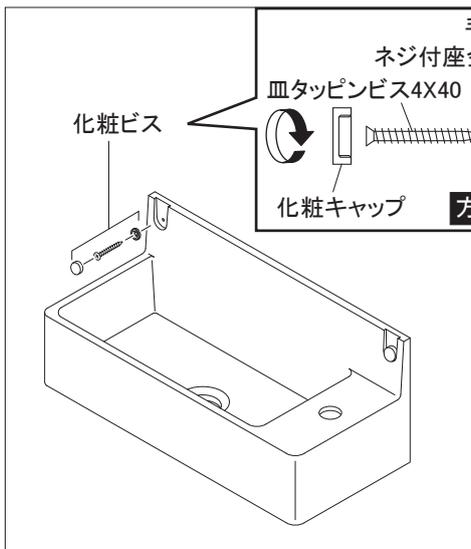
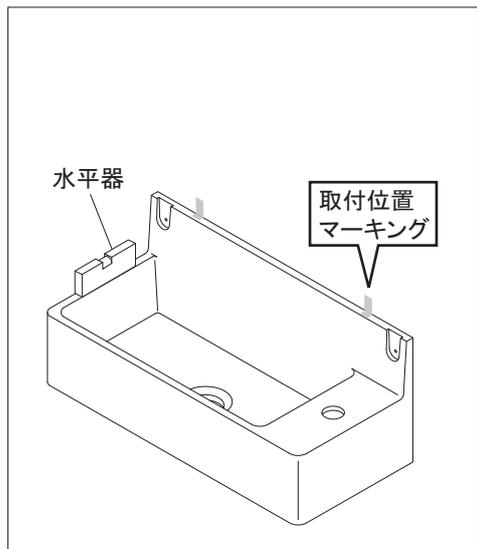
- 排水金具取付けの際は、漏水を防止するため、必ず指定位置に、シリコンコーキングなどのシール材を塗布してください。
- 締付ナットは、手洗器の破損を防止するため、ゴムパッキンの弾性を失わない程度に締付けてください。

裏面へ続く➡

# 取付方法(つづき)

## 2. 手洗器を取付けます。

\* 固定する位置には、壁の構造に応じた補強を行ってください。



- ①手洗器を取付ける位置に手洗器を仮合わせし、水平器でレベル出しをします。レベルが出ていることを確認したら、取付位置をマーキングします。
- ②マーキングに合わせて手洗器を置き、手洗器を化粧ビスで壁に固定(2カ所)します。  
\*化粧ビスはイラストを参考に正しく取付けてください。  
\*壁面がタイル・コンクリートなどの場合は、下穴(φ6.0)を開け、同梱のプラグを打込んでください。
- ③手洗器と壁のすきま(境界)に、シリコーンコーキングなどのシール材を充てんし、きれいに仕上げます。

## 3. 水栓金具(別売)・排水トラップ(別売)を取付けます。

\* 詳細は器具の説明書を参照してください。

**注意** 施工後の確認が完了するまでは、水栓金具を吐水させた状態などでその場を離れないでください。漏水により家財などを濡らす恐れがあります。

## 施工後の確認

- ①手洗器の取付状態の確認  
ガタツキがないか確認をします。
- ②水栓の吐水量の確認、及び調整  
水栓を吐水させ適正な吐水量であるか確認をします。  
\*水ハネが激しい場合は、止水栓を絞ってください。  
\*吐水量が排水能力を上回る(あふれる)場合は、適正水量になるまで止水栓を絞ってください。
- ③漏水、排水の確認  
通水・排水経路の接続各部に水もれがないか確認をします。排水がスムーズに行われるか確認をします。  
\*詳細は、各器具の説明書を参考にしてください。

**注意** メンテナンスなどで、止水栓を閉め、再び開く場合などには、水栓の吐水量の確認、及び調整を必ず行ってください。(施工後の確認 ②)